

日本語と韓国語の断り表現の構造

—指導教官の依頼を断る場面を中心に—

元 智恩

1. はじめに

Brown&Levinson(1987)によれば、ある行為は本質的に相手のフェイスを脅かすという¹。断わり行為は、聞き手からの誘いや依頼を受け入れることができないことを伝えることによって、相手に認められたい、評価されたいという聞き手のポジティブ・フェイス²を脅かすと同時に、聞き手に評価されたい、認められたいという話し手のポジティブ・フェイスをも脅かす行為であると考えられる。相互のフェイスを脅かす行為(FTA)を軽減するために、どのような断り表現が用いられ、その構造はどのようなものであろうか。断り表現の構造を分析した研究では、その構造が必ずしも十分に明らかにされているとは言えない。

本稿では談話完成テストから得られた日韓の断わり表現を意味公式で分割し、それらの組み合わせを分析する。そこから規則性を見出して、断わり表現の構造を明らかにしたい。

2. 本研究における意味公式

¹ Brown&Levinson (1987:65)を参照されたい。

² Brown and Levinson は、フェイス(face)とは社会の構成員である成人誰もが持つ公的な自己のイメージであり、次の二つのフェイスがあるという。ポジティブ・フェイス(positive face)は、自己のイメージを他者から認められたい、評価されたいという欲求であり、ネガティブ・フェイス(negative face)は、他者から自分の領域を侵害されたくない、行動の自由を制限されたくないという欲求である(1987:61)。

Beebe 他(1990)は断わり表現を分析する単位として「意味公式(semantic formula)を立て、断わり表現は意味公式の連鎖体として分析することができるといふ。例えば、「すみません、用事があるので行けません」という断り表現は、〈謝罪〉+〈弁明〉+〈不可〉という三つの意味公式の連鎖から構成されているのである。彼らは(1)意味公式の発現順序、(2)意味公式の発現回数、(3)意味公式の内容という三つの観点から断り表現を分析しているが、断り表現の構造と関わる意味公式の発現順序については詳しく述べられていない。最初の段階では Beebe 他(1990)の意味公式をそのまま使って断り表現を分割した。その結果、多種多様な意味公式の組み合わせができて、断り表現の構造をパターン化することが非常に困難であった。従って、なるべく類似している意味公式同士を一つの大きなカテゴリにまとめた方がいいのではないかと考えられる。例えば、〈今後の約束〉と〈代案の提示〉と〈将来や過去なら承知したという条件提示〉は意味が類似しているように思われる。Beebe 他(1990)は〈今後の約束〉は将来承知するという約束で“will”か“promise”を用いるものであり、〈代案の提示〉は①Yの代わりにXができる、②Yの代わりにXをしたら?という基準を提示している。〈将来や過去なら承知したという条件提示〉は基準を示さず、“If you had asked me earlier, I would have...”という例を挙げている。以下では談話完成テストの資料から三つの意味公式の条件に該当する例を示す。末尾の括弧内の文字と数字は、国(日本はJ、韓国はKで示す)、性別(男性はM、女性はF)、通し番号を順に示したものである。

〈今後の約束〉

例(1) あ、すみません。本当申し訳ないんですけど、今日はちょっと用事があってー、無理で、無理だと思っうんですね。すみません。次の機会があったら、必ず行きますので、どうも今日は申し訳ございません。失礼します。(JF18)

〈代案の提示〉

例(2) えーと、申し訳ないんですけど、ちょっと用事がその日あるんで、

お手伝いできないと思うんですね。んーと、誰か知ってる人でも手
伝いに行かせましょうか。(JM39)

<条件提示>

例(3) あ、申し訳ありません。あの、どうしても外せない用事があって、
あの、後日なんか手伝うことがあれば、手伝えるんですけども、
今日はちょっと。すいません。(JM12)

例(1)は将来なら承知するという内容を示しているので、<今後の約束>であると思われる。例(1)は Y(現在手伝うこと)の代わりに X(今後手伝うこと)ができるという点から考えると、<代案の提示>にもなれると考えられる。例(2)は Y(話し手)の代わりに X(話し手の知人)が手伝うことができることを示しているので、<代案の提示>であると思われる。例(3)は Y(依頼を受けた時点)の代わりに X(後日)なら受け入れることができたという内容であるので、<代案の提示>とも考えられる。例(1)の<今後の約束>と、例(2)の<代案の提示>と例(3)の<条件提示>の共通するコアな意味は、「Y の代わりに X ができる(又はできた)」ということであると考えられるので、以下のように各々を<代案の提示>のカテゴリーのサブカテゴリーとして分類する。

<代案の提示>D³

- 1.代案を述べること：제 친구한테 말해가지고 대신하면 안되겠습니까?(KM45)(私の友達に言って代わってもらってもいいですか)
- 2.過去や未来のときなら受け入れたという条件提示：빨리 말ս해 주셨으면 약속을 취소해보겠는데(KF19)(早くおっしゃってくださったら、約束をキャンセルしてみますけれども)
- 3.将来の約束：またの機会に何かお手伝いすることがありましたら、お手伝いさせていただきます(JF52)、다음에 꼭 헤드릴께요.(KF16)(今度は必ずお手伝いします)

そして、彼らは<肯定的な意見>と<共感>を別々に立てている。例を示

³ 分析の便宜上各々の意味公式にアルファベットをつけた。

すと以下の通りである。

例(4) すいません。その日はちょうどバイトが入ってまして、本当は手伝いたいですけど、ちょっと無理なので、えーと、またの機会に何かお手伝いすることば、がありましたら、お手伝いさせていただきます。(JF52)

例(5) ①예, 저, 교수님, 저, 죄송한데요, (中略) 오랜만에 교수님이 어렵게 저한테 부탁하시는 거 아는데요. (KM17)

(はい、あの、先生、あの、申し訳ありませんが、(中略)久々に先生が遠慮しながら私に頼んで下さったことは分かりますが)

例(4)は<肯定的な意見>、例(5)は<共感>であるが、これらも相手の依頼、要求などに対して好意的な反応を示すという共通の意味を持っていると考えられるので、次のように一つのカテゴリーの中に入れる。

<肯定的意見の表明>C

1. 依頼内容について自分の好意を積極的に表明する

手伝いたいのは山々なんですけど(JM5)

꼭 도와드리고 싶은데(KM25) (必ずお手伝いしたいんですが)

2. 相手の状況に理解や同情を表明する

교수님이 어렵게 저한테 부탁하시는 거 아는데요(KM17)

(先生が私に遠慮しながら頼んで下さったことは分かりますが)

同様に、情報や意見や理解を要請している面で類似点が見られる意味公式を<要請>のサブカテゴリーとして設けた。

<要請>O

1. 情報を要請する：人手が足りないですか(JF11)

2. 意見を要請する：よろしいでしょうか(JF28)

괜찮죠(KF5) (大丈夫でしょうか)

- 3.理解を要請する：勘弁して下さい(JF41),
이해 좀 해주시고요(KM55)(ちょっと理解して下さい)

以下の意味公式は Beebe(1990)の分類をそのまま用いた。

<不可>H

- 1.遂行動詞を使う断り：今から断りしておきます(JF21)
2.やる気や能力の否定：お手伝いできないんですけども(JF17)
도와드릴 수 없습니다(KM8)(お手伝いできません)

<謝罪・残念な気持ち>S：申し訳ありません(JM23)

죄송합니다(KM11)(申し訳ありませんが)

<弁明>B：用事があるので(JM1)

일이 있어서(KF4)(用事がありまして)

<間を持たせる表現>K

「うん」「うんと」「え」「えーと」「えーとですね」「あの」「あ」「いや」「ま」「어(eo)」「에(e)」「저(jeo)」「저기(jeogi)」「아(a)」「아이(ai)」など。

<回避>P

- 1.延期：そちらの用事の方確認してから、また改めてお返事させていただきたいと思います(JF33)。
2.言葉を濁す：まだはっきりと分からないんですけども(JF33) 今日はこちら(JM12)

次の意味公式は Beebe 他(1990)の意味公式には含まれていないものであるが、実際に資料の中で用いられたので設けた⁴。

<依頼内容の言及>N：依頼内容の一部を述べることである。

今度の引越しのお願いの件ですけども(JM36)

이사문제 때문에 지금 드릴 말씀이 있는데(KM38)

(引越しの問題について今申し上げることがありますが)

<呼びかけ>Y：先生、교수님(先生)

⁴ Beebe 他(1990)の意味公式に含まれていないものが発現したとき、これらを意味公式として認定するか否かの問題があるが、これに関しては別稿に譲りたい。

<情報提供>T: k⁵내일 시간이 난다, 난다고 하거든요(KM22)
(kが明日時間が空いているそうです)

<会話終了への促し>A

「はい」「예(ye)」など. 이상입니다(KM17)(以上です)

通常「先行文の受け止め」の機能を持っていると思われる「はい」が断り表現の最後に用いられると、談話を終わらせる働きを果たしているのではないかと考えられる。

例(6) あ、ごめんなさい。えーこの後用事がありますので。はい⁶(JM18)

<依頼>I: よろしく願います(JF22)。

3. 調査結果

3.1 分析方法

指導教官に研究室の引越しの手伝いを頼まれたが、時間的・能力的に手伝うことが可能であるが、なんとなくやりたくないから断る場面を文章で示し、その場面で自分ならどう断わるかを答えさせ、それを録音した。日本人 95 名と、韓国人 106 名の発話を文字化し、次のように意味公式に区切った。

例(7) 申し訳ないんですけど s、その日はちょっと用事があるので B、あの k 手伝いできません H。 すいません s。 失礼します A。(JF2)

例(8) 아 k, 교수님 y, 오늘은 개인적으로 일이 있어서 B 안되겠네요 H. 다음에 꼭 해드릴게요 p.(KF16) (あ、先生、今日は個人的な用事があって駄目なんです。今度必ずお手伝いします)

例(7)は SBKHSA の 6 つの意味公式、例(8)は KYBHD の 5 つの意味公式の

⁵ 人名をイニシャルで示している。

⁶ 調査者が被験者に確認したところ、この種の「はい」は録音者に対して自分の発話が終わったことを示す発話ではなく、想定された場面の相手に向けられた発話であることが分かった。

組み合わせから成る構造を持っていると分析することができる。最小 2 個から最大 26 個の意味公式から構成される組み合わせが用いられた。全体の中で 3 つ以下の意味公式から構成される組み合わせは、日本語では 6 例(6.3%)、韓国語では 4 例(3.8%)に過ぎなく、これらから一定の傾向が見られなかったので、4 つ以上の意味公式の組み合わせを中心に分析を進める。

3.2 断わり表現の構造

上述の方法によって分割した 4 つ以上の意味公式の組み合わせの場合、BH の前後が他の意味公式で包み込まれたり、B と H の間に差し込まれたりするタイプが多く用いられている。このような B と H を中心とする組み合わせタイプ(以下では BH 型と示す)の割合は全体の 80% 近く(日本は 77.5%、韓国は 74.5%)を占める。

カノックワン(1995,1997)、大倉(2002)でも「弁明+不可」が断り表現の中心構造を構成しているという結果を確認することができる。従って、BH が断わり表現の中心的構造を構成していると考えられる。意味公式の組み合わせが長くなると、BHH 型と BHBH 型のように、BH 型の変種も見られる。次は BH が含まれているタイプと、その他のタイプに分けて以下の表 1 および表 2 に示す。括弧内の数字は発現頻度を示す。

表 1 日本語の 4 つ以上の意味公式の組み合わせ

BH 型 小計 69(77.5%)				
S-B(S)H(1)	K-B(K)H(1)	KB-BH-S(1)	KN-BH(1)	S-BH-S(1) K-BH-D(1)
K-BH-DI(1)	K-B(K)H-S(1)	K-BH-DD(1)	KS-BH-S(1)	SS-BH-S(1)
KKP-BH-P(1)	S-BH-DI(2)	SK-BH-S(3)	KSK-BH(1)	K-BH-S(2)
K-B(SK)H-S(1)	K-B(KSK)H(1)	KS-B(S)H-S(1)	KS-B(K)H-S(1)	
KSK-BH-S(3)	S-B(K)H-SA(1)	SB-B(K)H-S(1)	YS-B(K)H-S(1)	
SK-B(K)H-S(1)	S-B(C)H-KD(1)	KS-B(KCS)H(1)	KC-BH-KDSS(1)	
KSK-B(KS)H(1)	KSK-B(S)H-S(1)	KSS-BH-SDSA(1)	KCK-B(K)H-S(1)	
KSK-BH(K)H(1)	SK-B(K)H-KSI(1)	KSK-B(KDKS)H(1)	KYKSK-BH-KS(1)	
KNK-B(S)H-S(1)	KSKN-B(K)H-KOS(1)	KKS-B(KK)H(SK)H(1)		
KS-B(S)H(KI)H-S(1)	KKKS-BH(SKD)H(1)	KYKCC-B(D)H-IS(1)		
KKSKKB-B(K)H(1)	KYSK-B(KKCKSK)H-S(1)	KYK-B(KKS)H-KSKAKSA(1)		
KCKKK-B(KKKDKKKK)H-KDKKSKKKA(1)	KS-B(K)H(SK)H-S(1)			
KNKC-B(K)H-KDKKKS(1)	KS-B(K)H(SK)H(1)	KKSK-B(KSK)H-SSA(1)		
CNKS-K-B(SKK)HH-S(1)	KSYN-B(KDSK)H(1)	KSK-B(KI)H-KS(1)		
KKBKKS-B(S)H-SO(1)	KYSK-B(K)H-SDKS(1)	KKKKKB-B(KD)H-S(1)		

K-B(K)H-KKDKDKD(1)	KNKS-B(K)H-SDA(1)	KSK-B(KKKPKPKKKK)H-S(1)
KCK-BH(KDKKS)H(1)	KKKS-BH(K)H(SSSKKDK)H(1)	
KYNK-B(KD)H-KDI(1)	KSKKK-B(K)H-KS(1)	
その他 小計 20(22.5%)		
SBKA(1)	SBDS(1)	KSBD(1)
KHDS(1)	KSHS(1)	KSPP(1)
KSKBA(1)	SBKOS(1)	KSKBKS(1)
KKSKBO(1)	KCBKDS(1)	KSKCKBDKS(1)
KSKBKDPS(1)	KSKBKDI(1)	KSKBSDSS(1)
KSKBKDBS(1)	KKSKBKDO(1)	KSKBDBD(1)
KBKCSKOS(1)	KNKKBKCKBSKD(1)	
合計 89(100%)		

表 2 韓国語の 4 つ以上の意味公式の組み合わせ

BH 型 小計 76 (74.5%)	
YS-BH(1)	K-BH-S(1)
KS-BH(1)	Y-B(S)H(1)
YSK-BH(1)	YK-B(K)H(1)
K-BH-SD(1)	YK-BH-S(1)
KYC-BH(1)	KY-BH-D(1)
KY-B(S)H(1)	S-B(C)H-S(1)
KYK-BH(1)	KYSK-BH(1)
K-BH-KDD(1)	KYK-BH-S
KC-BH-DY(1)	YK-BH-DS(1)
KS-BH-S(1)	KYS-BH-SDK(1)
KKSY-BH-S(1)	KY-B(K)H-KSA(1)
KYSK-KB-BH-S(1)	KYS-BH-KDS(1)
KYKCK-BH-S(1)	KKYBCK-BH(1)
KKYS-BH-S(1)	KS-B(KS)H-S(1)
KYKC-BH-S(1)	KYS-B(K)H-S(1)
KKYSB-BH-S(1)	KY-BH-DK(1)
K-B(KS)H-S(1)	YBK-KK-BH(1)
KYK-BH-DS(1)	YKOKK-BH(1)
KY-B(KK)H-D(1)	KKYK-BH-AS(1)
YKCKB-BH(1)	KKC-BH-A(1)
KKYC-BH(D)H(1)	KSYK-BH-SD(1)
KYBK-BH-KS(1)	KKYK-BH-PD(1)
KYS-BH-CS(1)	KSY-BH-KDS(1)
KYK-BH-AS(1)	K-B(K)H-KDS(1)
KKYSK-B(K)H(1)	KYKS-BH-KSKD(1)
KYSKKB-BH-SY(1)	KYSK-B(KD)H-S(1)
KYK-B(K)H-S(1)	KYS-B(K)H-KS(1)
KYSK-B(K)H-KDD(1)	KYSKKB-B(K)H-SA(1)
K-B(KKSKKS)H-A(1)	KKYKSKK-B(K)H(1)
KYSK-BH-SKDAS(1)	KKYKKB-BH-SDS(1)
KYKO-B(D)H-KO(1)	KYKK-B(K)H-KS(1)
YK-B(K)H-KSBKP(1)	KKY-B(KC)H-KSKD(1)
KKKYCKB-B(K)H-S(1)	KKYKBKS-BH-DKKS(1)
KYKKB-BH-KSDS(1)	KYKCBDK-B(K)H-YSD(1)
KYSK-BH-KSDKKKS(1)	KYSKCB-BH(SDD)H-SS(1)
KYKSN-B(K)H-TDKKYKS(1)	KKYKKN-BH(PKC)BH-DDO(1)
KYS-BH-KDKPKCBDKKDS(1)	KKYKS-B(S)HB(SS)H-KBCDA(1)
KKYKSNKKNKK-B(K)H(CC)H-SDA(1)	KYKKNBKK-B(KKSKCK)H-S(1)
その他 小計 26(25.5%)	
YSBSD(1)	YPBKD(1)
YSBYS(1)	KYSBK(1)
KYBBS(1)	KYBKBK(1)
KSKBKD(1)	KBBCBOSKD(1)
KYKBSY(1)	KBBYS(1)
KYKSBKS(1)	YKSCBOD(1)
KYBKDKD(1)	KYKCBKBDKI(1)
KYSCBSD(1)	KYKKBODKSBS(1)
KKKHKYD(1)	KYSKHOSD(1)
KSYCBDS(1)	

KYCBKBBYSDY(1)	KYSBBKYSD(1)	KYKCKCHKHSDSY(1)
KKKYKSKCKBKSKDSY(1)	KKYSBKPKDKKYDD(1)	
KYSBDS(1)	YSKCKKBCSKDS(1)	
合計 102(100%)		

表 1 および表 2 の BH 型を配列順序によっていくつかのタイプに分類すると以下の通りになる。中心構造は BH のことを指す。/ はいずれかが選択されて発現可能であり、() は差し込まれることを示す。例えば、「S/K+B(C)H+S/D」は、中心構造の前に S や K が、後に S や D が発現可能であることを示しており、中心構造の間に C が挿入されることを表している。

<日本語>

i 中心構造の前後が包み込まれるタイプ (21 例)

例(9) え_K、ちよっと都合がつかないい_B、手伝えませんい_H。申し訳ございませんい_S。(JM41)

→K+BH+S

K/S/KS/KB/SS/SK/KC/KSK/KSS/KKP/KYKSK+中心構+S/P/D/DI/DD/KS/KDSS/SDSA

ii 中心構造の前が包み込まれるタイプ (2 例)

例(10) え_K、すいませんがい_S、え_K、今日ちよっとその日はちよっと用事があるのでい_B、ちよっと行けないい_Hです_H。(JF43)

→KSK+BH

KN/KSK+中心構造

iii 中心構造の前が包み込まれ、かつ中心構造の間に差し込まれるタイプ (8 例)

例(11) え_K、その日——はちよっと用事があるのでい_B、え_K、無理ですい_H。(JM21)

→K+B(K)H

S/K/KS/KSK/KSYN/KKSKKB+中心(S/K/KS/KSK/KCS/KDKS/KDSK)構

造

iv 中心構造の前後が包み込まれ、かつ中心構造の間に差し込まれるタイプ (29例)

例(12) 先生_Y、申し訳ないんですけど_S、ちょっとこれから友達と約束があ
って_B、あの_K、引越し手伝えないんですけども_H。本当にごめん
なさい_S。 (JF25)

→ YS+B(K)H+S

K/S/KS/YS/SK/SB/KNK/KYK/KSK/KCK/KSKN/KYSK/KNKC/KNKS/KY
NK/KKSK/KKKKKB/KSKKK/KCKKK/KYKCC/KKBKKS+中心 (S/K/C
/D/SK/KS/KD/KK/KSK/KKCKSK/KKKDKKKK/KKKPKPKKK)構造+
S/SA/SO/KD/IS/KS/KPS/KOS/KDI/KSI/SDA/SSA/SDKS/KDKKKS/KSKA
KSA/KKDKDKD/ KKDKKSKKA

BHH型 (9例)

例(13) えーと_K、すいません_S。ちょっとその日は都合がわるくて_B、申し
訳ないんですけど_S、ちょっとできないです_H。あの_K、ちょっとえー
ー_K、お手伝いすることができないですが_H、どうもすいません_S。
(JM9)

→ KS+B(S)H(KK)H+S

KKS+B(KK)H(SK)H、KS+B(S)H(KK)H+S、KS+B(K)H(SK)H+S、
KS+B(K)H(SK)H、KKKS+BH(SKD)H、CNKSK+B(SKK)HH+S、KSK
+BH(K)H、KCK+BH(KDKKS)H、KKKS+BH(K)H(SSSKKDK)H

<韓国語>

i 中心構造の前後が包み込まれるタイプ (34例)

例(14) 교수님_Y、저기_K 급한 일이 생겨서요_B。지금 못 도와드릴 것 같은데_H。
죄송해요_S。(KF2) (先生、あの、急用ができて、今お手伝いで
きそうではありません。申し訳ありません。)

→YK+BH+S

K/YK/KY/KC/KYK/KYS/KSY/KKC/KSB/KKSY/KKYS/KYBK/KKYK/KYS
K/KSYK/KYKC/KYKS/KKYK/KKYSB/KYKCK/KYSKKK/KYSKBK/KKY
KKC/KKYKBKS+中心構造+S/A/D/DY/DS/DK/AS/SD/SY/PD/CS/KDD/S
DS/KDS/SDK/KSKD/DKKS/SKDAS/KSDKKKS/KDKPKCBKDKKDS

ii 中心構造の前が包み込まれるタイプ (10例)

例(15) 어_K, 교수님_Y, 저기_K, 집에 제사가 있어서_B, 오늘 안될 것 같은데요_H.
(KF45)(あ、先生、あの、家に法事があって、今日駄目なようです)

→KYK+BH

YS/KS/YSK/KYC/KYK/KYSK/YKOKK/YKCKB/KKYBCK/YBKKKK + 中
心構造

iii 中心構造の前が包み込まれ、かつ中心構造の間に差し込まれるタイプ (5
例)

例(16) 교수님_Y, 그날 일이 있어서요_B, 죄송합니다_S, 못 도와드리겠는
데요_H. (KF6)(先生、その日用事があるので申し訳ありません。お
手伝いできません。)

→Y+B(S)H

Y/YK/KY/KKYSK/KKYKKSCK+中心(S/K)構造

iv 中心構造の前後が包み込まれ、かつ中心構造の間に差し込まれるタイプ
(22例)

例(17) 저기_K, 죄송한데요_S, 제가 일이 좀 있거든요_B, 어_K 죄송한데_S, 못
도와드릴 것 같아요_H, 죄송합니다_S. (KF46)(あの、申し訳ありませ
んが、私が用事がちょっとあるんですが、あの、申し訳ありませ
んが、お手伝いできなさそうです。申し訳ありません。)

→KS+B(KS)H+S

S/K/KS/KY/YK/KKY/KYK/KYS/KYKK/KYSK/KYKO/KYSKK/KYKKK/K
YSBK/KYKSN/KYSKBK/KKKYCKB/KYKCBDK/KYKKNKNKBKK+中
心(K/C/D/CK/KC/KS/KD/KK/KKSKKS/KKKKSKCK)構造+A/S/D/DS/SA

/KS/KO/KSA/KDD/YSD/KSKD/KSDS/KSBKP/TDKKYKS

BHH 型(3 例) : KKYKSKNKKNKK·B(K)H(CC)H·SDA, KKYC·BH(D)H,
KYSKCB·BH(SDD)H·SS

例(18) 아 K, 예 K, 교수님 Y, 헤드리고 싶은데 C, 오늘 개인적으로 사정이 있어
가지고 B, 조금 안될 것 같습니다 H. 뭐 다른..제 친구 같이 과 수업
듣는 사람한테 말해가지고 대신하면 안되겠습니까 D. 오늘 제가 줌
저녁에 영 안될 것 같네요 H. (KM45) (あ、はい、先生、お手伝いし
たいんですが、今日個人的な事情がありまして、ちょっと駄目みたい
です。他の私の友達、一緒に研究科の授業を聞いている人に言っ
て代わってもいいでしょうか。今日私がちょっと夕方は全然駄目み
たいですね)

→KKYC·BH(D)H

BHBH 型(2 例) :

KKYKS·B(SC)HB(SS)H·KBCDA, KYKKN·BH(PKC)BH·DDO

例(19) 예 K, 교수님 Y, 있잖아요 K, 어 K, 연구실 이사 도와달라고 하시는데 N,
오늘 집에 일이 있어서 B 못 헤드릴 것 같은데 H. 어떡하죠 P?
아 K, 줌 도와드리고는 싶은데 C, 집에 엄마가 빨리 오라고 해서요 B.
오늘 안될 것 같은데 H. 다음에 연구실 이사 그때 하시게 되면
도와드릴게요 D. 맛있는 거 사드릴테니까 D, 한번만주세요 O. (KF32)
(え、先生、えーとですね、あの、研究室の引越し手伝ってくれとお
っしゃいましたが、今日家に用事があってお手伝いできなさそうな
んです。どうしましょう。あ、ちょっとお手伝いしたいんですが、
家に母が早く帰ってと言いましてね。今日駄目みたいですが、今度
研究室の引越をすることになったらその時お手伝いします。おいし
いものをごちそうしますので、今回だけ勘弁してください。)

→ KYKKN+BH(PKC)BH+DDO

4. 考察

以上のことから、断わりの言語行動の構造は、中心構造の周りや間を他の意味公式によって包み込まれる傾向があることが分かった。中心構造である BH とその周りの意味公式がどの順序で配列されるかという配列順序によっていくつかのタイプに分類することができると考えられる。日韓共に i, ii, iii, iv, BHH の 5 種類のタイプがあるが、韓国語ではそれらに加えて BHBH タイプもある。これらの中で、日本語では iv タイプが最も多用されており、韓国語の場合は i タイプが最も多く使われている。中心構造とその前後や間の意味公式の間には統合関係(syntagmatic relation)⁷が形成されていると考えられる。

一方、その構造の配列において BH の前後、又は間にどれが選択されて発現するかということは、選択的關係に関わる問題である。例えば、日本の iv タイプの中心構造の前に K, SK, KSK などがつき、後には S, KS, SDKS などが後続しているが、これらの前後の要素各々は連合關係(paradigmatic relation)⁸にあると考えられる。

日本語で最も多く用いられた iv タイプを韓国語の iv タイプと比べると、中心構造の前に K, S, KS, KYK, KYSK、間に K, C, D, KS, KD, KK、後に S, SA, KS がつくことは共通しているが、それ以外のものの発現は異なっている。特に、中心構造の前に韓国語では KY, YK, KKY, KYK, KYS, KYSK などのように Y(呼びかけ)が用いられることが多いのに比べ日本語では Y の使用頻度が相対的に少ないことが分かる。

また、韓国語で最も多く用いられた断わりの構造は i タイプである。これは中心構造の前後に他の意味公式が取り巻くタイプであるが、日本語の i タイプと比べると、中心構造の前に K, KC、後に S, D が後続することは同じであるが、それ以外のものの発現は異なる。日本語に比べて、韓国語の i タイ

⁷ 二つ(以上)の要素が連結的または並列的に置かれて、より大きな単位(unit)を作る関係。a kind man における冠詞+形容詞+名詞は統合關係にある (『現代言語学辞典』(1988)田中春美編 成美堂 p.663)。

⁸ 二つ(以上)の要素が分立的あるいは排他的・選択的である関係 (『現代言語学辞典』(1988)田中春美編 成美堂 p.460)。

プは前後につく意味公式の種類にバリエーションがある。言い換えれば、連合関係にある意味公式の種類が豊富であると言えるだろう。

日本語の ii タイプの使用頻度は 2 例で少ないのに対して、韓国語の ii タイプは相対的に多く用いられている。中心構造に前接する意味公式として日本語の ii タイプでは KN や KSK の二つが使われたが、韓国語の ii タイプでは YS, KS, YSK, KYC, KYK, KYSK, YKOKK, YKCKB, KKYBCK, YBKKKK の 10 種なので、連合関係にある意味公式の種類が豊富であると言える。

iii タイプの場合、日本語では 8 例、韓国語は 5 例使用された。日本語の iii タイプでは S, K, KS, KSK, KCS, KDKS, KDSK のように中心構造の間に差し込まれる意味公式の種類が多いのに対して、韓国語では S, K のみであることが対照的である。中心構造に前接する意味公式の中で共通して用いられるものはないが、中心構造の間に差し込まれるものの中で S や K が共通している。

日本語の BHH 型の発現頻度は 9 であるが、韓国語の BHH 型は 3 例用いられた。しかし、日本語には BHBH 型がないが、韓国語では BHBH 型が 2 例使われていることが分かる。

以上のことから分かるように、日韓両言語における断り表現の構造を比較すると、配列順序を示す統合関係と、配列順序においてどれが選択されて発現するかとの連合関係には共通点と相違点があることが分かる。

5. まとめと今後の課題

日韓の断り表現の構造は、中心構造とその周りの意味公式の配列順序によって 5 つのタイプ(日本語)、6 つのタイプ(韓国語)に分類することができる。また、配列順序において中心構造の前後や間にどの意味公式が選択されて発現するかという縦の連合関係には共通点および相違点があることが分かる。従来の研究では主に配列順序のような横の構造分析が中心であったが、本稿では横と縦の両方の構造を分析した。

本稿では一つの場面における日韓の断り表現の構造の比較を行ったが、今後は複数の場面における断り表現の構造の比較をして、その全体像を明らか

にしたい。さらに、断わり表現の構造とポライトネスとの関連性についても考察していきたい。

【参考文献】

- 荒巻朋子 (1999) 「アメリカ人と日本人の断り表現の比較」『長崎大学留学生センター紀要』第7号
- 生駒知子・志村明彦 (1993) 「英語から日本語へのプラグマティック・トランスファー：「断り」という発話行為について」『日本語教育』79号
- 大倉美和子 (2002) 「語用論研究と日本語教育—メキシコ人と日本人の「誘いを断る発話」—」『対照研究と日本語教育(日本語と外国語との対照研究:10)』国立国語研究所編、国立国語研究所
- 金秀英 (2000) 「「断り」談話の日・韓国比較—社会的距離を表示するストラテジーをめぐって」『日本語教育学会秋季大会予稿集』
- 横山杉子 (1993) 「日本語における『日本人の日本人に対する断り』と『日本人のアメリカ人に対する断り』の比較—社会言語学のレベルのフォリナートーク」『日本語教育』81号
- カノックワン ラオハブラナキット (1995) 「日本語における『断り』：日本語教科書と実際の会話との比較」『日本語教育』87号
- カノックワン ラオハブラナキット (1997) 「日本語学習者にみられる「断り」の表現：日本語母語話者と比べて」『世界の日本語教育』第7号 国際交流基金 日本語教育センター
- 李威 (1999) 「日・中・韓母語話者の「断り」行為の対照研究」『日本語教育学会秋季大会予稿集』
- Beebe, L.M., Takahashi, T., and Uliss-Welts, R. (1990) Pragmatic Transfer in ESL Refusals. In R. C. Scarcella, E. Anderson, & S.C. Krashen (eds.), *Developing Communicative Competence in a Second Language*, New York: Newbury House Publishers, pp.55-73.
- Brown P. and Levinson, S. (1987) *Politeness: Some Universals in Language Usage* Cambridge: Cambridge University Press.

- Lee, Seen You and Kang, Hyeon-Sook.(2001) Comparative Study of Refusal Response of Korean and English 『人文科学』 8 卷 1 号 弘益大学校 人文科学研究所
- Noel Houkc and Susan M.Gass. (1996) Non-native refusals: A methodological perspective. Susan M. Gass and Joyce Neu, (eds.) *Speech acts across cultures: challenges to communication in a second language*. Mouton de Gruyter.

The structure of refusal expressions in Japanese and Korean

— With a focus on refusals of one's academic
adviser's request —

Jieun WON

The paper analyzes the structure of refusal expressions in Japanese and Korean. In both languages there is a core structure of refusal expressions, surrounded by various semantic formulas. The paper makes clear similarities and differences between Japanese and Korean in the parallel syntagmatic relations, as well as vertical paradigmatic relations. Past research has mainly focused on the analysis of the parallel relations in the structure of refusal expressions, whereas this paper puts the emphasis on the comparison of both, the parallel and the vertical relations.